

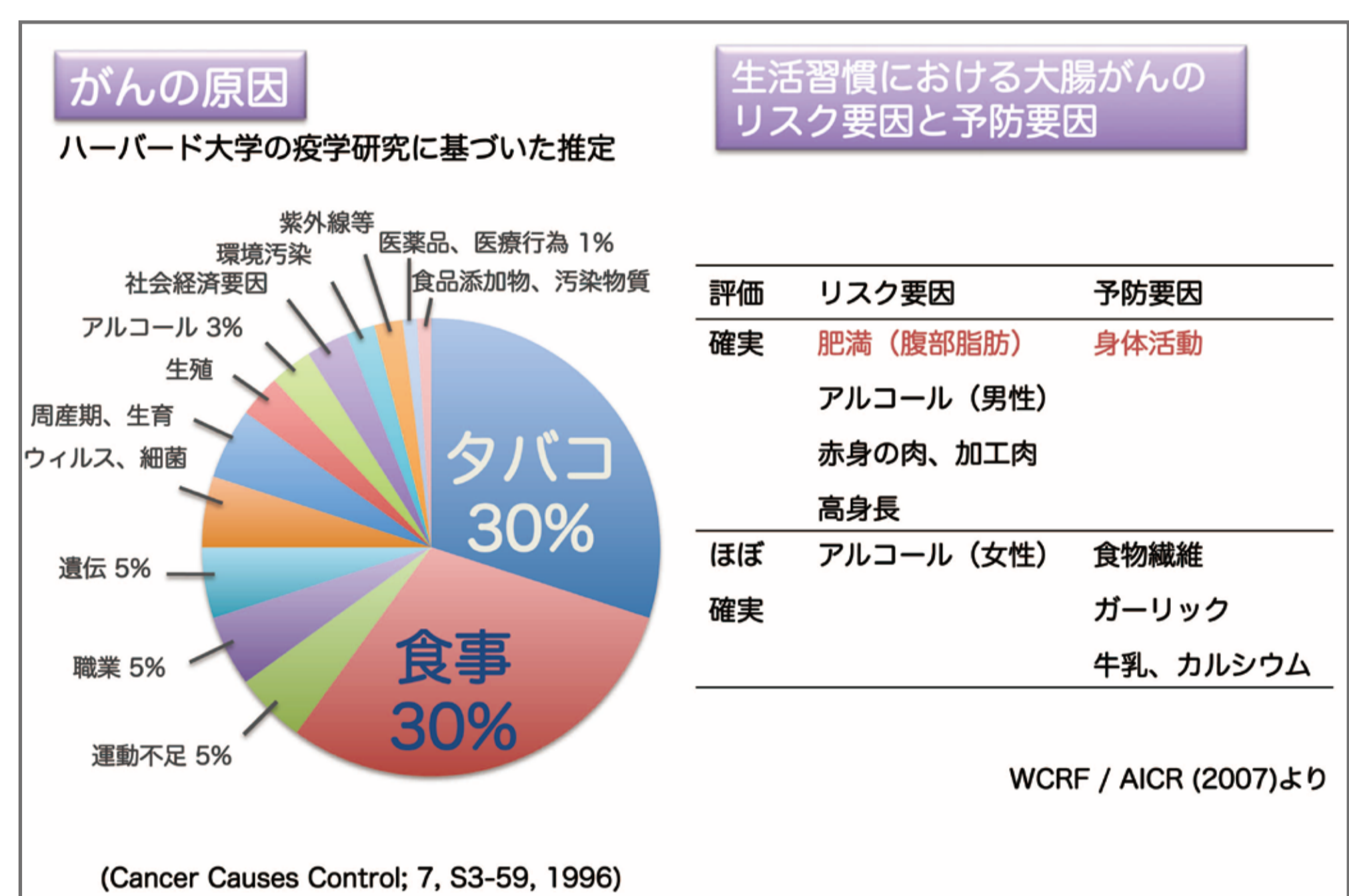
肥満とがん

Obesity and Cancer

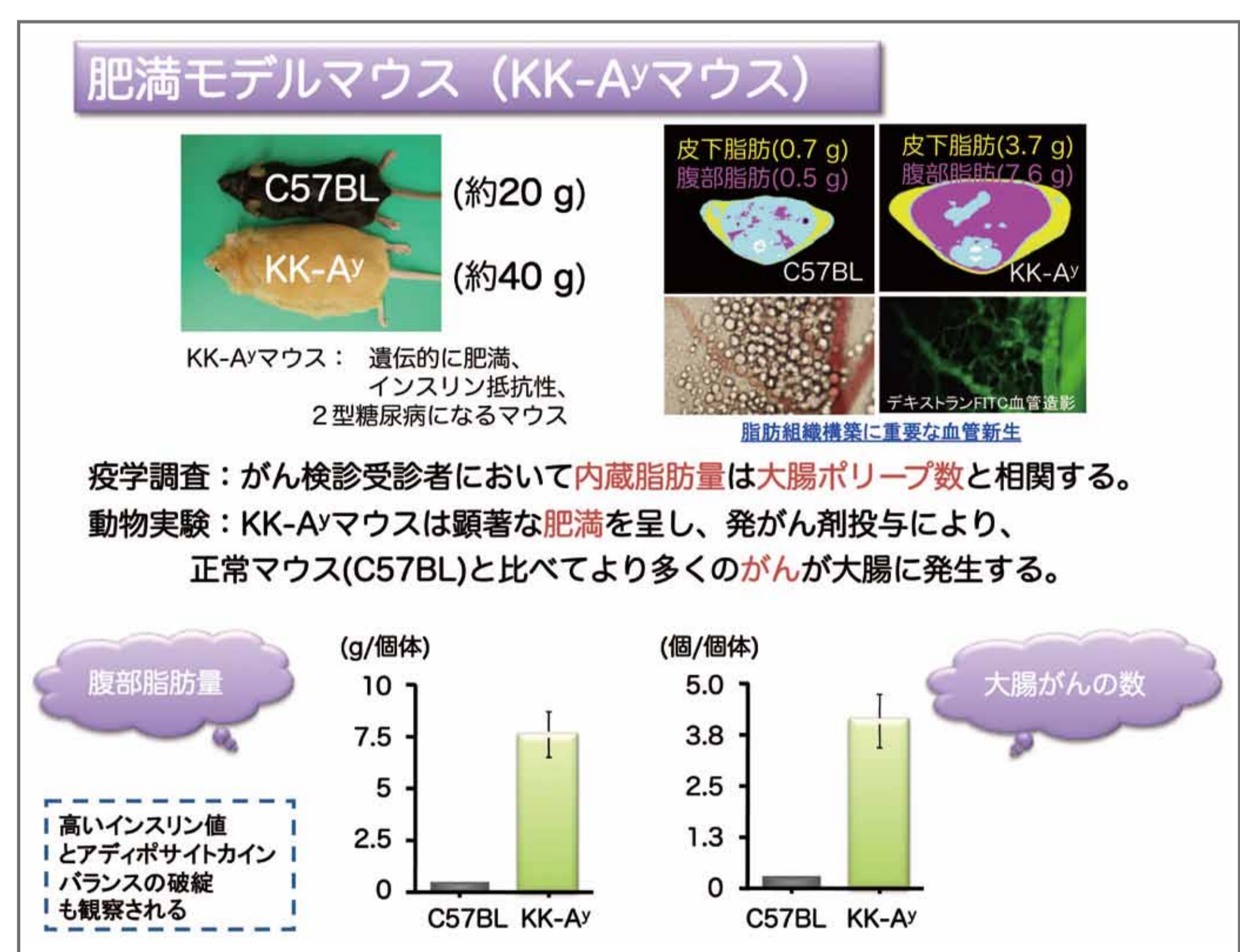
がんは多くの人に関わる問題であり、その予防は大切です。がんの予防方法として生活習慣改善、がんの早期発見、そしてがん化学予防薬を用いる方法があります。がん化学予防の対象者としてがんの高危険群があり、肥満の人はがんになりやすいことがわかってきました。脂質・糖代謝異常を改善する薬はがん化学予防の候補となる可能性があります。

肥満とがんの関係が分かってきました

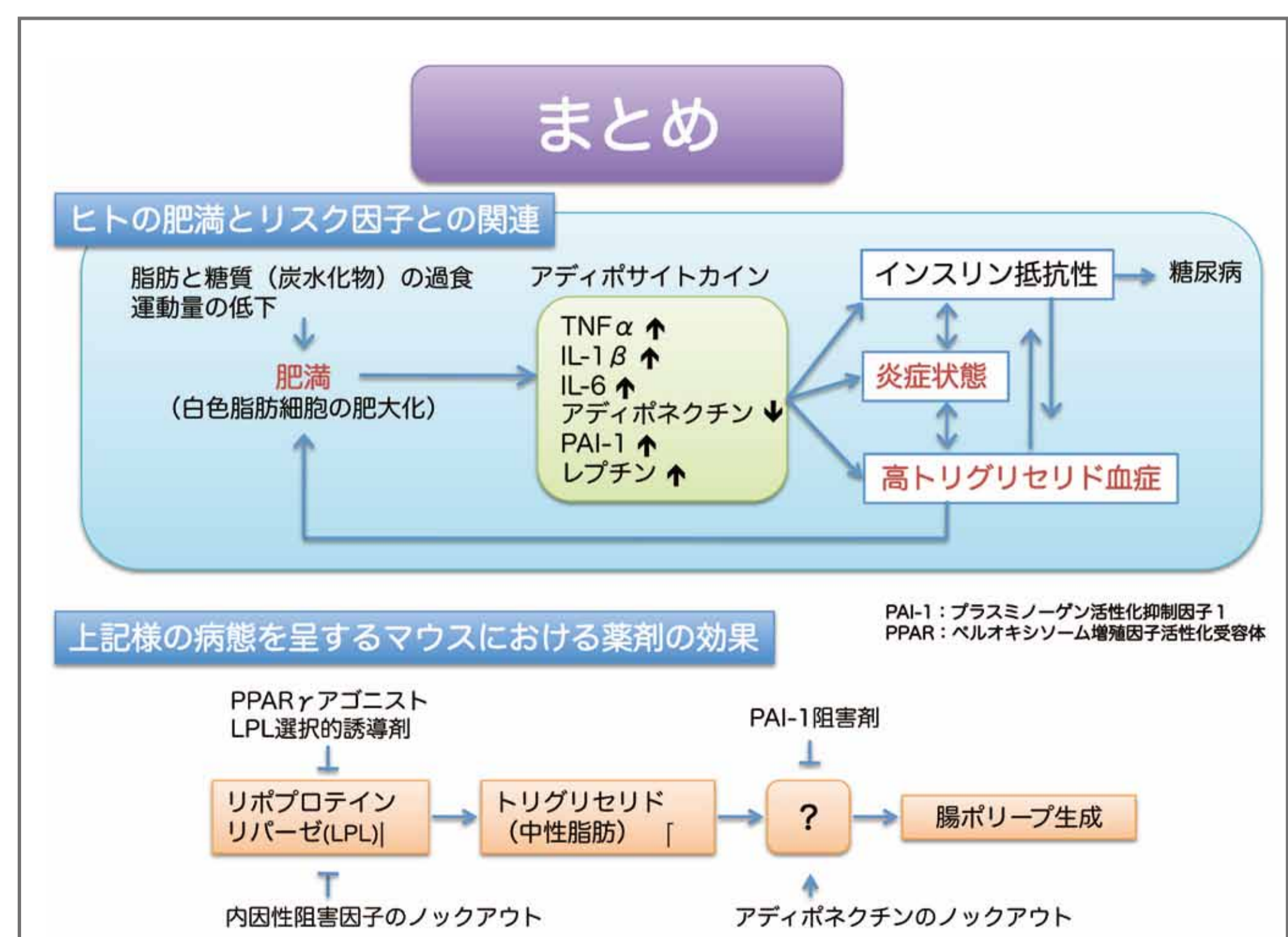
「メタボ(メタボリック症候群)」という言葉が一般的になり、太っていることの代名詞になりました。メタボは心筋梗塞や脳梗塞のリスクになるばかりでなく、大腸がんや乳がんなどを発生しやすくすることもわかってきました。これまでに、糖の吸収と細胞を増やす作用のあるインスリンという因子が肥満により増加し、出来てしまったがん細胞を増やすことがわかっています。肥満モデルマウスや肥満と類似の病態を呈する動物を用いてがんの発生に関する研究を行うと、様々なメカニズムがわかってきます。我々は脂肪細胞が分泌するアディポサイトカインの過剰な分泌ががんの発生に重要な役割を果たしている可能性があることを報告しました。これらの病態は運動により改善しますが、やせる薬を使わなくても、一般的な脂質異常症や糖尿病の薬でも改善します。薬や食品でメタボとがんを予防する方法を、一緒に見つけていきませんか？



ヒトにおけるがんの原因、リスク因子と予防因子



肥満モデル動物で促進する大腸発がん



肥満と大腸がん予防研究のまとめ